

チームハワイ 「ハワイのピリナ（絆）文化」

コース・専攻： 国際交流・協力コース 28

グループ名 チームハワイ

メンバー（7名）吉田寛、栗田芳郎、関下和良、阪上淑子、北村信子、野間外志子、山秀子

テーマは「ハワイのピリナ（絆）文化」

テーマ設定の動機はチームの中にハワイアンバンドのメンバーがおり、また当国際コースで過去ハワイをテーマしたG学習がなかったことだ。

チームは7人、ハワイに行ったことがある人ない人、イメージも様々で、どこから始めようか戸惑いもあった。各々興味のポイントが異なるためサブテーマを日系移民・言葉と文化・ミュージックとフラ・アロハシャツ・お酒と温泉、と決めて個々に学習を開始した。

まず、ハワイ移民センターのある山口県の周防大島へフィールドワークに行った。館長さんの丁寧な説明や展示物などを見て気持ちはグッとハワイに引き寄せられた。

明治の初めになぜ遠い太平洋の真ん中の島にたくさんの人が働きに行ったのか？ 歴史を知ると興味がわき、ハワイの歴史年表を元に自分たちのテーマに沿ったオリジナルの年表を作り、日本や世界の動向も入れた。後は本やハワイ州観光協会のサイトに助けられ、知識を増やすことができた。

目につく所からスタートしたので、全体を把握するのに時間を要し、迷路にはまったような時期もあったが、結果幅広い理解に繋がったのではないかと思う。

日系三世の野口先生にアドバイスを貰ったのは幸運で、結論を急ぐことなく寄り添っての指導をいただいた。三宮でのアロハハワイアンズのイベントにお孫さんと見に来てくださったのもいい思い出だ。

個々の論文がひと段落したところで、秋には福島県いわき市の映画「フラガール」で有名なスパリゾート・ハワイアンズに二度目のフィールドワークに出かけた。少々娯楽モードだったが、丁寧に作られたフラミュージアムの展示により、新たな学習をすることができた。「現地ならでは！」行ってみないとわからないものである。ウキウキするバンドの演奏と、しなやかなフラの動きが、なぜこうも人を魅了するのか？ 原点がここにあった。

テーマから外れるが、西のフィールドワークでは、呉市の大和ミュージアムや広島市の原爆記念館、東のフィールドワークでは、東日本大震災記念館を訪問した。くしくも多くの悲しみを目の当たりにし、思いが深くなった。

次にテーマ学習をされる方は、机上ではなく体験を重視されることをおすすめする。

美味しいものをいっぱい食べてお酒もいっぱい飲んで大笑いして楽しい時間を満喫した。7人のメンバーと過ごした時間は良い思い出として残る。

